

能登半島地震から2年をふりかえる ～災害時に展開するソーシャルワークの役割について～

2024年能登半島地震から2年が経過しました。この間、国では災害救助法等の改正が進み、災害救助のメニューに初めて「福祉」が明確に位置付けられました。また、DWAT（災害派遣福祉チーム）のガイドラインも改定され、災害福祉支援への期待が一層高まっています。

こうした制度改正の背景には、能登半島地震で被害の大きかった奥能登エリアに、臨時福祉避難所（被災地1.5次避難所）を速やかに設置し、支援を展開した長野県DWATの実践があります。

本セミナーでは、石川県で災害福祉支援に取り組む社会福祉法人から、2年を経た被災地の現状と復興の歩みを学ぶとともに、社会福祉士による平時の備えと災害時のソーシャルワーク実践について理解を深めます。

研修方法 Zoomによるオンライン

開催日時 2026年1月31日（土） 10:00～12:00

内 容 10:00 開会・オリエンテーション

10:10 ○基調講演 「能登半島地震から2年をふりかえる」
<講師>村岡 裕 氏（社会福祉法人佛子園 専務理事）

10:50 ○ディスカッション
ブレイクアウトルームに分かれ、基調講演を踏まえて、参加者各自の日頃のソーシャルワーク実践を踏まえ、被災者支援におけるソーシャルワークの役割について考えます。

11:30 【第3部】まとめのセッション
<スピーカー>

村岡 裕 氏（前掲）

橋本 昌之（本会会員 長野県DWATコーディネーター）

北原 由紀（災害福祉支援委員会 委員長）

<進行> 災害福祉支援委員会

12:00 終了

申し込み

申し込みフォーム（<https://forms.gle/DcjwYzyCdzRHVb1u5>）又は

QRコードから、1月23日（金）までにお申し込みください。

申込締切後、メールにてURLとセミナーの資料をお送りいたします。

